



越谷市議会議員

白川ひでつぐ市政レポート

がんばろう越谷

越谷再生へ・がんばる越谷から日本を回復しよう

No.82 越谷市長選挙特集第2弾

発行:白川秀剛

〒343-0045 越谷市下間久里477-12

TEL&FAX 048-979-3027

Mail shirakawa110@gmail.com

新しい社会をつくる。 だから、私たちは生き方を変える。

コロナ禍で越谷市では、42名の市民が亡くなっています。(10月9日現在)越谷市には幸いにして保健所がありますが、それでも激増する業務に職員体制が追いついていません。検査や治療は勿論ですが、新自由主義によって社会の底が抜けてしまった状況を変えなければ根本的な解決が出来ません。そのためには旧来の社会構造の転換が必要です。政治をあきらめない、機能する自治体を市民自身が自覚し、作り出す責任と役割を引き受けることで前進していきます。それは同時に市民一人一人の価値観やライフスタイルを大きく変えていく事が何よりも問われています。

越谷市長選挙に臨む！私の視点

人権=私たちが生きていく全てにかかわること

※ARコードの使い方は裏面をお読みください。

子育てしやすい越谷ってつまり・・・

動画をみる



子育てをしやすい環境とは、結局どんなところなのでしょう。子育てを「モノ（便利なサービスを利用して育てる）」と考えるか、「コト（「こんな大人になってほしい！を実現できる住環境や人間関係を考慮して育てる）」と考えるかで、目指す地域像は変わってきます。便利なサービスも、助け合う人間関係も両方ほしい！と私たち親は思います。でもちょっと待って。実際子どもはどう思っているのでしょうか。「育てられている」子ども達の意見を最優先で大人が尊重することができたら、皆納得の子育てしやすい越谷になると思いませんか？

人権・ジェンダーと越谷ってつまり・・・

動画をみる



例えば女性、例えば障がいを持つ方が地域社会の中での雇用の機会に恵まれない。こうしたことからあらためて「人が生きるということ」を自分事としてとらえると、社会はどう見えてくるのでしょうか。人権・ジェンダーは、少数派の人だけの問題ではなく、私たちが自分らしく生きていくことをお互い認め合うこと、多様性と寛容の問題なのです。多様性の中で生きるためには、今まで様々なチャンスを得ることが出来ない人たちが、まず同じスタートラインに立てるための支援が必要です。誰かが生きやすい社会は、自分も生きやすい社会です。私たちがこの越谷で生きていく意味を一緒に考えてみませんか？

「くらしを守る人」を守る越谷ってつまり・・・



動画をみる

「いのちとくらしを守る」ということは、単に今回のような感染症や災害、事故で人が命を落とさないようにするだけで良いのでしょうか。私たちの毎日の暮らしを支えるエッセンシャルワーカーの方々が安心して働くことができる環境、そうした人材を平時から常に育成していくという風土をつくっていくことが、結果的にどんな時でも私たちの安心・安全な生活を維持することになるのです。

越谷市長選の投票日は

動画をみる

10月31日(日)



福田あきらさんは
白川ひでつぐと行動を共にします！



まだ生まれていない子ども達が生きるために変える社会のしくみ

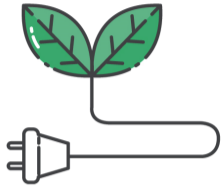
越谷市は本年4月に、2050年までにCO₂（二酸化炭素）の排出を全体としてゼロにすることを旨とする周辺5市1町で共同して「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。では私たちは具体的に何をしたらよいのでしょうか。

動画をみる



地球環境危機の視点からゼロエネルギー社会を考える

省エネ



- ・自動車・家電製品などの買い替え時に省エネタイプにする
- ・住宅に断熱材等を使用することによってエネルギー効率を高める
- ・グリーンエネルギーの使用でエネルギーシフトを実現する

再エネ

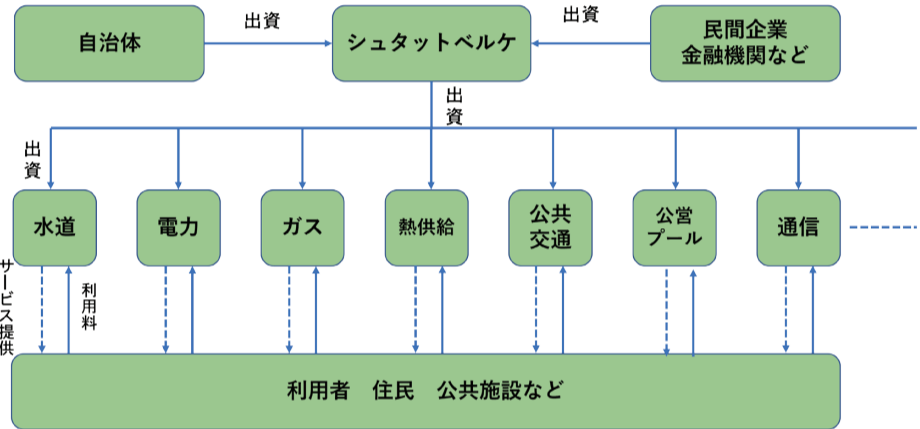


太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出しないで国内で生産できることから、エネルギー安全保障にも寄与できる有望なうえに多様で、重要な低炭素の国産エネルギー源です

地産地消は食べ物だけじゃない！

越谷版「シュタットベルケ」を提案！

シュタットベルケ (Stadtwerke) とは「自治体がお金を出して作る公共サービスの会社」のことで、ドイツやオーストリアの1000を超える自治体で作られています。一般的に地方自治体や地域住民、地場企業などが出資を行い、**地産地消の発電事業**を担っています。多くが電力小売りで黒字を維持しているので、その利益を他の公共サービスへ補填しています。例えば越谷の場合、毎年約**500億円**近くの**エネルギー代金**が地域外に流出しています。ゴミ焼却を5市1町で運営している東埼玉環境資源組合は、すでにその実績があり、大きな基盤となります。もしシュタットベルケを導入した場合、その流出分を地域内に取り戻すことが出来ます。例えば**100億円**でも流出を防ぐことが出来れば、その分を**学校給食の無償化**や**介護保険料をひき下げる**事業などに充てることが十分可能です。



動画をみる



日本各地のシュタットベルケ

みやまスマートエネルギー (福岡県みやま市)をはじめ、全国で20を超える自治体で稼働しています。

動画をみる



今回の市長選へ向けて、「政治をあきらめない」私と市民の対談の様子をYoutubeで公開しています。

- ・障がい児をもつ父親として
 - ・PTA、子ども食堂などで活動中の母親
 - ・介護からの社会保障制度を考える
 - ・Z世代、現役大学2年生からの視点
 - ・高橋市政の12年は何だったのか
 - ・コロナ禍の文化的な活動
 - ・中小企業の地域への関わり
- 辻純志郎さん (40代介護職)
佐々木郷美さん (小学校PTA役員)
中野昌子さん (主婦)
保科大喜さん (琉球大学2年生)
山田大助さん (越谷市議会議員)
斎藤真理子さん (地域劇団 団員)
吉田理子さん (中小企業経営者)

続きはWebで公開中!



白川ひでつぐYoutube公式チャンネル

ARで動画を埋め込んでみました♪

今回紙面に表示されているARのマーク  にスマホのカメラをかざすと、動画(3分程度)が表示されます。

特に専用のアプリは必要ありません。注:音が出ます。

動画を見る方法

- ① ARマークの隣にあるQRコードを、スマホのカメラで読み取ります。(注:QRコードはその都度読み込んでください)
- ② QRコードを読み取って表示された画面のまま、ARコードの上にスマホをかざします。
- ③ 「動画を見る」ボタンをタップすると、動画が再生されます。

※今回は、越谷市内の名所で撮影

こんな形です!(サンプル)



QRコード

ARコード